

## 第1外科(心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科) 卒後臨床研修カリキュラム

### 【研修目標】

- (1) 医の倫理に配慮し、外科診療を行う上での適切な態度と習慣を身につけ、1年次研修の終了を受けて、外科専門医の修練に準じ外科学総論、基本的手術手技、および一般外科診療に必要な外科診療技術を習得する。
- (2) 外科サブスペシャリティとして心臓血管外科、呼吸器・乳腺外科の診療に必要な基礎知識、技能および態度を習得する。
- (3) 1年次に習得し得なかった経験目標がある場合この期間に補う。

### 【行動目標】

- (1) 外科診療に必要な局所解剖、腫瘍学、病態生理の基礎的知識を習熟する。
- (2) 手術侵襲に対する生体反応と代謝の変化を理解し、手術のリスクを理解することができる。
- (3) 周術期の輸液、輸血について述べることができる。
- (4) 感染症に対する適切な抗生物質の使用、術後発熱の鑑別診断、抗生物質の合併症に対する理解ができる。
- (5) 周術期の管理の病態生理を理解し、病態別の検査計画、治療計画を立てることができる。
- (6) 指導医とともに適切なインフォームドコンセントを得ることができ、チーム医療を実践することができる。

### 【経験目標】

指導医の監督のもと以下のことを経験する。

- (1) 超音波診断を自身で実施し、病態を理解できる。また、エックス線単純撮影、CT、MRI、血管造影の適応を決定し、読影することができる。
- (2) 気管支鏡、心臓カテーテル、シネアングิโอグラフィーの必要性を判断することができる。
- (3) 周術期管理(術後疼痛管理、輸液管理、輸血量の決定、ドレーン管理など)を行う。
- (4) 手術に助手として参加し、指導医の監督のもと、外科手術手技を習得する。サブスペシャリティとして習熟度に応じ以下のことが実施可能である。胸骨正中切開、開胸、開腹、大腿動静脈の剥離、胸腔ドレナージ、胸腔鏡下肺部分切除など。
- (5) 研究会、学会での発表を経験する。症例報告の論文を執筆する。

## 【週間スケジュール】

8:00

8:30

18:00

---

月	教授回診(7:45~)	手術(9:30)	
火	抄読会(呼・乳)	手術	
水	病棟カンファレンス、抄読会(心)		医局会、検討会(呼・乳)
木	検討会(心)	手術	
金	病棟カンファレンス	手術	

---

月、水、金:外来処置

その他、指導医とともに月3回程度の当直。

関連教育病院で一般消化器外科も含めたさらに幅広い疾患を経験し、検査、診断、治療を学ぶ機会を得る。